

## あなたに はつたつち

リレーエッセー④⑧

### 蛭が飛び交うころ

六月八日、朝来町の「播磨ふれあいの家」を利用した時のことです。

夕食時降っていた雨も上がり、川の淵まで歩いて行った。暗闇の中に蛭を鑑賞する人たちの話し声が聞こえてきたので、話し声の方へ歩いて行くと、蛭が大きく小さくゆるやかに放物線を描きながら、まるでワルツのリズムにでも乗っているかのよう

に、乱舞するその光景は実に幻想的であり、幼いころ故郷で見た蛭と変わらない自然がここにあり、類を通りすぎる夜風と共にしばらくの間、時刻を忘れた。

翌朝、昨晩のあの素晴らしい自然の光景を今一度見ておきたかった。人通りのない川に下り

てじつと川面をのぞいていると、メダカが三々五々群れをなしてゆっくり泳いでおり、さらによく見ると石の間からドンコの顔も見えた。水に浸かっている石をゆっくりめくってみると石の底には、まぎれもなくカワニナや蜻蛉の幼虫が動いていた。

ふと気がついて耳を澄ませば近くで鳴く「ホーホケキヨ」朝のひんやりとした静かな谷間にこんな素晴らしい心の癒しを感じる事ができた。

驚の声を聞きながら家の方へ足を向けた。「おはようございませう」通りかかった地元の人に挨拶を交わし昨夜の蛭のことを聞いた。すると、四、五年前バケツに一杯程カワニナを、この川に放流してから蛭が飛びようになったのですよ」と聞いた。

この素晴らしい自然の中にも、自然を守るために人の手でそおいつと自然に返す努力をしているのだと思うと実に頭の下がる思いがした。

私たちの町には喜瀬川がある。海に注ぐ河口をのぞけば背の曲がったボラや鯉が無数に泳ぎ、この川はすでに死の域に達していたと言わざるを得ない時期があったが、現在、生活排水を分離、工場排水は規制している結果なのか、水は元の透明さを増している。

高齢者の話を聞けば「住吉橋付近に蛭が飛んでいた。この川に再び蛭が飛び自然を取り戻すことができないだろうが。」



真弓 義信さん (野 添)

趣味 音楽鑑賞、スポーツ  
バロック音楽から演歌、ポップスなど、特にミサ曲、レクイエムを好む

### おはなしだいすき!



子どもたちは絵本の世界でわくわくドキドキ

### 播磨保育園

今日は待ちに待ったおはなし会。「やったあー。おばさんがきてくれた。」と子どもたちは大喜び。

「このろうそくに火をつけると絵本の世界になるのよ。」と言いつつろうそくに火をつけると、子どもたちはたちまち絵本の世界へ!。ろうそくからただようラベンダーの香りに包まれながら、絵本や素話、いろいろな詩などいつもと違ったお話に興味しんしんの子どもたち。お話の展開に「わあ。」と歓声をあげたり、思わずパチパチと拍手をする姿も見られ、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

### へ・ん・し・ん!

### 播磨西幼稚園



へ・ん・し・ん! 大成功

入園当初は不安で泣いてお母さんから離れにくかった三歳児も今は、幼稚園が大好き。友達の名前を呼んで、「ちゃん、おはよう。」と挨拶したり、「ちゃん、遊ぼう。」とみんな仲良し。年長児や年中児のしているセーラームーンのリボンを見て、「私も作って。」と棒にタフロープのリボンをつけてひらひらなびかせたり、曲に合わせて踊ったり、腰にも胸にもリボンをつけるともっちは、セーラームーンです。

また、ウルトラマン遊びも大好きで「変身したい。」とタフロープを手や足、腰、頭につけて次々とミニウルトラマンの誕生です。「僕は赤いテープがいい。」「ハリケンジャーだもん。」「僕は青いテープ。」「クーガだ。」などとテープの色によっていろいろな思いがあるようです。年長児が持っていたマヨネーズとラップの芯で作った剣を貸してもらったり、自分たちでもブロックをつなげたり新聞紙を丸めて作ったり、友達と一緒にするのが楽しいようです。今では心も大きく変身!

### 「あえの里」との交流を通して



楽しみながらの心の交流

### 播磨北小学校

播磨北小学校は、フェンス一枚で「あえの里」と接しています。二年前から四年生以上が学年枠を越えて取り組む「テーマ学習」の一つとして、継続的な交流を始めました。子どもたちは、毎週「あえの里」に行き、一緒に貼り絵やゲームなどを楽しみ、また土曜日や日曜日にも、おじいちゃんやおばあちゃんと遊んだり話をしたりする姿が見られるようになりました。

そこで昨年度から、学習活動の一つとしてではなく、日常生活の一環として交流を始めました。「行って何かをしてあげる」というのではなく、「行って一緒に楽しむ」という気持ちで、業間などの休み時間を利用して、トランプをしたり、お話をしたり、習字を教えてもらったりと活動の幅を広げていきました。おばあちゃんたちの笑顔、そして子どもたちの笑顔を見て、次第に、しかも確実に、人を思いやる心やふれあうこと、すばらしさを感じる心が育っているように思います。

### 潮風祭を振り返って

### 播磨南高校 潮風祭実行委員長 西倉 純也



練習の成果を發揮!

潮風祭は、六月十四、十五日に実施されました。

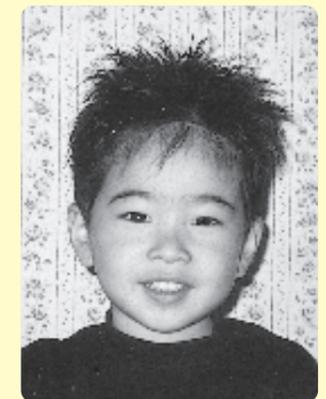
今年から加印地区の中学校の生徒会に招待状を送り、我が校の文化祭を見に来てもらいました。また、地域の方々も多数来校されました。現在、我が校で行っている模擬店も、今年はW杯に係関係したものがあ

り、無事に成功を収めました。

また、今年もクラスが一丸となり、下校時刻ぎりぎりまで練習したり、準備に追われているクラスもありました。バザー企画の方では、多くの地域の方々や、保護者の方々からの協力があ

り、盛大なバザーとなりました。この場を借りてご協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## わんぱくはりまっ子



こにし ゆうだい 小西 雄大くん(3さい) 野 添  
元気であっという間に大きくなりました(お父さん・お母さんより)



このコーナーに出ただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象)広報担当まで電話を。またスナップ写真を送って来ても構いません。